

eitoeiko より和田高広展「Nippori Portraits」のお知らせです。

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。eitoeikoでは7月20日より8月10日まで、和田高広による個展「Nippori Portraits」を開催いたします。弊廊では9年振りの個展となる本展では、和田高広が近年精力的に取り組んでいる湿板写真を中心に、湿板写真を鶏卵紙にプリントした作品など十数点を展示いたします。

幕末に輸入されたガラス湿板による写真技法は、その後に発明されたガラス乾板の流行によって、短い期間で廃れた技法です。コロジオンという粘性の強い液体でガラス表面に皮膜をつくり、その上に感光剤として硝酸銀溶液を塗布し、乾燥する前に撮影しなければならないという作業行程上の制約により、独特の風合いを出すことが可能です。和田は明治期に湿板写真が盛んだった頃の写真を研究し、露光時間を6秒前後に設定して撮影しています。被写体が自らを静止する短くも長い一瞬の緊張感が、明治期の写真の表情に近づけています。そして、かつては存在していたが現在はほとんどが姿を消してしまった写真館を湿板写真館として日暮里に復活させたことは、TVや新聞、ラジオなど数多くのメディアで紹介されています。

デジタルカメラ全盛のなかで、失われてしまったフィルムカメラによる傷や汚れを表現に取り込んだ前作から、時代を遡って湿板写真にたどり着いた作家は、21世紀に生きる人々の姿を、100年の時を経たレンズを通してガラスの上に定着させています。そして社会の中における芸術の実践として、和田は市井の人の美を探ります。

和田高広

1963 東京生まれ

2009 日暮里ガイドブック eitoeiko

2013 Past Tense, Future Imperfect ArtShareLA

2015 湿板写真館をオープン

2016 写された明治時代 エンバーソンのガラス乾板と絵はがき フェルケール博物館

2018 めがねと旅する美術展 青森県立美術館、島根県立美術館石見、静岡県立美術館

展覧会情報

作家名 和田高広

展覧会名 Nippori Portraits

会期 2018年7月20日(金)～8月10日(金) 開廊 12時～19時

オープニングパーティー 2018年7月20日(金)19時～21時

会期中の休廊日 日曜日、月曜日

会場 eitoeiko(エイトエイコ)

住所 〒162-0805 東京都新宿区矢来町 32-2

電話 03-6873-3830

ウェブサイト www.eitoeiko.com

お問い合わせ ei@eitoeiko.com 担当 癸生川(きぶかわ)



会期中のイベント その1

出張湿板写真館

7月22日(日) 12時から18時 ※要予約

料金 キャピネサイズ(165x121mm)21,600円

※E メールあるいはお電話にてご予約ください。

会期中のイベント その2

現代音楽作曲家・木下正道によるシリーズ

Looking Ahead vol.1 磯貝充希のサクソフォン

7月29日(日) 14時開場 14時30分開演

料金 2,500 円

※詳細はウェブサイト、Eメール、フェイスブック等で告知いたします。

出展作品



Woman put her hand under her chin, in memory of Y.N., wet plate, 302×254mm, 2018



1



2



3



4

1) Man in samurai armor, wet plate, 215×165mm, 2017

2) Atsushi Sano, wet plate, 215×165mm, 2018

3) Woman in kimono, wet plate, 165×121mm, 2018

4) Woman with a flute I, albumen print from wet plate, 165×121mm, 2015/2018